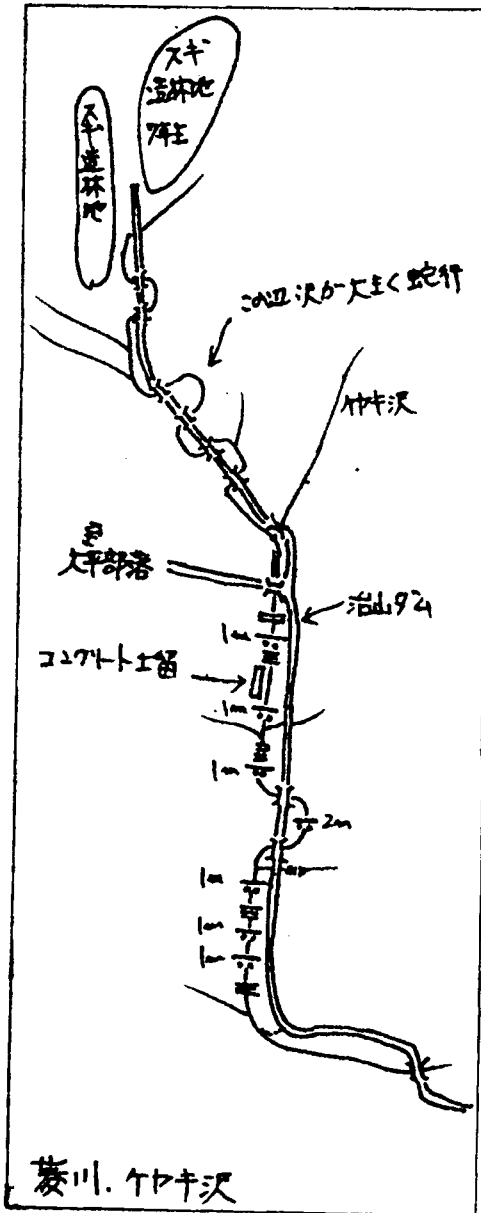


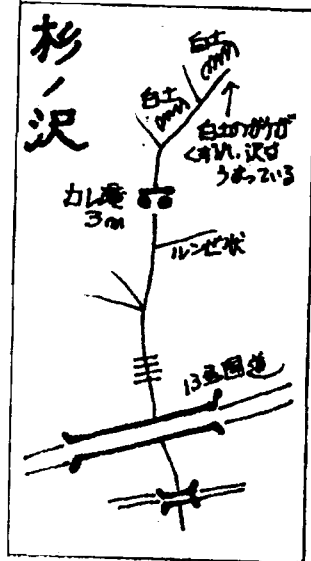
小川支流杉ノ沢

1985年5月19日

水の少ない出合を出発。すぐ上流には国道13号にかかる大きな橋があり、そのためか、沢はジュースの空き缶やゴミが多い。右岸には水を運ぶパイプが通っている。



1/2.5地図にはゴルジュの記号が記されているが、それはかなり上の方である。出合付近の兩岸は杉林となっている。



わずかのナメを過ぎると、左手より2本の支流が入る。この支流の出合を過ぎると、水もほんとうに少なくなる。右手からのルンゼ状の支流出合を過ぎると、3mのカレ流が現われる。この沢唯一の滝である。

滝の上流は水もまったく流れておらず、戻ろうか進もうかと考えながら歩いていると、またチョロチョロと水が流れてくる。

左手より入る2本の支流出合を越えると、右岸の白い土の壁がくずれて沢を埋めている。ここで遡行を終え、左岸の踏跡をたどって杉ノ平の集落に出る。()

[タイム] 出合(8:50)→沢終了(9:30)

菱川とケヤキ沢

1985年9月14日

L7

13号国道より分かれて、菱川ぞいの林道